



常滑焼の新たな用途を拓く茶器セットを開発しました
デザイン開発

技術分野分類 1651：デザイン学
技術キーワード 工業デザイン
産業分類 21：窯業・土石製品製造業

内 容	概要	素地調製時にフリット、炭酸ナトリウムを添加し、焼成することにより器体表面に艶が表出する「セルフグロス素地」を開発した。一方、ファッションデザイン、北欧デザインにおけるデザイン要素を茶器製品のデザイン開発に導入することにより、お茶のみならず、紅茶やハーブティーにも違和感無く使用できる茶器セットを開発した。
	従来技術・競合技術との比較 (優位性)	常滑産地特有の有色せり器素地は他産地との差別化を図る上で有利な素材である。本研究では有色せり器の更なる高度化を図り、フリット及び炭酸ナトリウムを加えることで素地表面に艶が表出するセルフグロス素地を開発した。また、技術面で他産地に対し優位性を持つ茶器に新規なデザインを採用することで、紅茶やハーブティーなどにも違和感の無く使用できる茶器を開発した。
	本技術の有用性	本研究により開発したセルフグロス素地は、成形性、焼成温度等において従来のせり器素地と同様に扱うことが可能であるため、産地業界への技術移転が容易であると考えられる。またデザイン面では、若年層が好むファッション要素、普遍的に好まれる北欧デザインなどを採用することにより、これまで伝統的な常滑焼を敬遠していた世代にも受け入れられるものである
関連情報 (図・表・写真等)	 <p>デザイン提案 試作品 試作品 試作品</p>	
適用可能製品	茶器、食器、花器等	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	山口 敏弘 あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 常滑窯業試験場 材料開発室長
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 常滑窯業試験場 0569-35-5151 / 0569-34-8196 tokoname@aichi-inst.jp

■知的財産 なし
■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2013年10月24日

修正日 2025年10月8日